

17 サンインコガタスジシマドジョウ (ドジョウ科)

Cobitis minamorii saninensis

兵庫県ランク:A

環境省ランク:EN

種の概要

全長7cm程度。河川の中・下流域や農業水路の砂泥底に生息し、特に岸際に植生が豊富な場所を好む。デトリタスを主に食べる雑食性。産卵は6～7月に行う。日本固有種で兵庫県から島根県の日本海側の河川に局所的に分布する。



写真提供: 兵庫県立人と自然の博物館(撮影: 増田 修)

県内における生息状況及びその他特記事項

県内では日本海側の河川に生息し、これまで1水系でのみ生息が知られていたが、最近、他の水系からも生息が確認された。いずれにしても分布域は極めて狭い。

保護上の留意点

産卵は6～7月で梅雨の増水時期にあたる。梅雨の増水によって出現し、本川とつながる小さな一時的水域を産卵場に行っていると考えられる。このような環境の確保には、堤外の河川敷幅の十分な確保と、その中での河川の蛇行を許すことが有効だと考えられる。こうすることで平水時には蛇行した河川の間に大小規模の異なった一時的水域・水溜りが生成され、増水時にはこれらの水域が本川と連結する環境が形成される。

県内分布

豊岡市、新温泉町

【執筆者】田中 哲夫・庄子 恭平・信本 励

主要な選定理由

人為性	激減	○
	環境	○
	捕獲	
	遺伝	
特殊性	特殊	○
	孤立	○
学術性	極限	○
	限界	○
	希少	○

